

福生市で「第10回フレンドシップ・コンサート」を開催
～米国空軍太平洋音楽隊と米国空軍儀仗隊がパフォーマンスを披露～
Thrills, Chills, Drills: Fussa City hosts PACAF Band, Drill Team Performances

May 5, 2025

By Staff Sgt. Taylor Slater
374th Airlift Wing Public Affairs

福生市発—4月24日、東京・福生市で第10回「フレンドシップ・コンサート」(福生・横田交流クラブ主催)が開かれ、米空軍太平洋音楽隊とワシントンD.C.のアナコスティア・ボーリング統合基地を拠点とする米空軍儀仗隊ドリルチームがパフォーマンスを披露した。

ドリルチームにとって今回は初来日で、特別な共演の機会となった。儀仗隊ドリルチームは4月20日から27日にかけて米国空軍太平洋音楽隊とともに、各地でパフォーマンスを披露した。

コンサートを前に、第374使命支援群司令官バート・オカモト大佐は、「会場一体で音楽を愉しみましょう。そうすることで、「Music(音楽)」に含まれる「us(私たち)」を見つけ出すことができるでしょう。私たちはひとつのリズム、ひとつのテンポ、ひとつのコミュニティです」とコメントした。

空軍音楽隊とドリルチームは、生演奏と統制のとれたドリル演技を通じて、同盟国との絆を深めるとともに、社会に米空軍の魅力を届けている。

第374空輸航空団司令官リチャード・マックエルハニー大佐は、「本日のイベントは永続的な日米の友情を示す一例に過ぎません。両国の強い絆、そして地元地域と横田をワンコミュニティとして束ねてくれる音楽の素晴らしさを喜び合いたいと思います。チーム横田を代表して、福生市の変わらぬ友情とご協力に心より感謝申し上げます」と述べた。

